

民鉄協ニュース30-No.6

平成30年8月16日

青い森鉄道の「鉄道体験学習デジタル教材」を8月22日より公開 WEBで学習「『わ』の鉄道でたずねる 青い森・海・空と人の旅物語」

日本民営鉄道協会（東京都千代田区）では、青い森鉄道（青森県青森市）をテーマとする「鉄道体験学習デジタル教材」を作成し、8月22日(水)より、ホームページで公開します。

「鉄道体験学習デジタル教材」とは、小・中学生を対象に、地域公共交通としての鉄道について再認識してもらうとともに、地域を知り、郷土への愛着を深めてもらうための調べサイトです。作成に当たっては、小・中学校の先生方、教科書会社と連携し、小学校の授業でも活用してもらえよう、独自の「学習指導案」を提供しています。

これまで17社の鉄道体験デジタル教材（別紙1参照）を公開しており、18社目の青い森鉄道は、掲載会社の中で最北端の鉄道会社となります。

本教材には、「『わ』の鉄道でたずねる 青い森・海・空と人の旅物語」と題し、三内丸山遺跡や浅虫温泉といった沿線の歴史の話題や、坂上田村麻呂や太宰治といった青森にゆかりのある人物の話題なども掲載しています。

本教材を通して、小・中学生が「青い森鉄道を軸とした郷土の全体像」を知り、先生方やご家族とともに青い森鉄道に乗って現地を訪ね、確かめることによって、地域の再発見につながればと考えています。

概要

- (1)教材名：青い森鉄道「『わ』の鉄道でたずねる 青い森・海・空と人の旅物語」
※『わ』とは、青森県の方言で私を表す「わ」、仲良く和やかな意味の「和」、地域をつなげる「輪」、そして青い森鉄道や地域の物語を伝える「話」などの意味が込められています。
- (2)公開開始日：平成30年8月22日（水）
- (3)アドレス：<http://www.mintetsu.or.jp/>
（日本民営鉄道協会のホームページから「鉄道体験デジタル教材」のリンクバナーをクリック）
- (4)構成内容：①トップページの路線図から駅を選択すると、青い森鉄道の全27駅の徒歩圏内に点在する、自然、重要文化財、歴史的建造物などを豊富な写真とともに詳しく紹介。
②「テーマからたずねる青い森」を選択すると、青い森鉄道の歴史や地域のあゆみ等をわかりやすく解説。（別紙2参照）



青い森鉄道デジタル教材トップページ（イメージ）

以上

公開中の鉄道体験学習デジタル教材（17社）

年度	会社名	教材タイトル
19	小湊鐵道	発見！ 市原 小湊鐵道乗車体験を通して
21	江ノ島電鉄※	江ノ電で知る 江ノ電でいく 鎌倉・藤沢 ー小さな学びの旅ー
	遠州鐵道※	遠鉄で知る 遠鉄でいく 浜松WEB大事典
22	新京成電鉄※	新京成で知る 新京成でいく 下総東葛飾のまちたんけん
	富士急行	富士急で知る 富士急でいく たんけん!! 富士山とともにあゆむまち
23	上毛電気鐵道※	上電で知る 上電でいく 赤城南麓 自然と絹の里あるき
	叡山電鉄※	叡電で知る 叡電でいく 京・洛北 たからのまちあるき
	神戸電鉄※	神鉄で知る 神鉄でいく 神戸・北摂・東播 歴史と文化のまちあるき
	伊予鐵道	伊予鉄で知る 伊予鉄でいく 伊予の香りをたずねる旅
24	豊橋鐵道※	豊鉄で知る 豊鉄でいく 豊橋・田原 電車で「まち」あるき
	北陸鐵道※	北鉄で知る 北鉄でいく 金沢・白山・野々市・内灘 伝統と文化の学びの旅
25	能勢電鉄※	「のせでん」でたずねよう 日本一の里山 わたしたちのまち・里めぐり
	島原鐵道※	島鉄沿線 地域の大事典 自然と人々の歩みを訪ねる旅
26	秩父鐵道※	秩鉄で知る 秩鉄でいく さがそう、みつけよう! わたしたちのさきたま・ちちぶ
	広島電鉄	電停からたずねよう のびゆく広島 まもりゆく広島
28	京福電気鐵道	～人と地域を結ぶ～ 嵐電ーみやこの路・大事典
29	箱根登山鐵道※	登山電車でたずねよう 箱根・小田原トコトコ旅事典

○日本民営鐵道協会「鐵道体験デジタル教材」ホームページアドレス: <http://digital.mintetsukyo.jp/>

※各社ホームページからも「鐵道体験デジタル学習教材」をご覧ください。

【「鐵道体験学習デジタル教材」の使い方】

- ① 日本民営鐵道協会ホームページのトップページにある「鐵道体験学習デジタル教材」のリンクバナーを選択し、一覧から調べたい鐵道会社を選択。
- ② 鐵道会社ごとの「学習テーマ」から、鐵道の歴史・役割などを調べることができる。

鉄道体験学習デジタル教材
「『わ』の鉄道でたずねる 青い森・海・空と人の旅物語」イメージ



テーマからたずねる青い森

テーマページイメージ

歴史をひもとく 青い森鉄道のあゆみ

歴史をひもとく 青い森鉄道のあゆみ

- ▶ 東北の自然と青森の歴史
- ▶ 青森唯一の緑地帯と緑道
- ▶ 上下分離が試みでなに？

道なただる 奥州旅の歴史と文化

想像をかき立てる 日本史のなかの青森

地名をさぐる 青森沿線地域のあゆみ

使命を果たす 青い森鉄道の未来へ

青い森鉄道は、東北新幹線の延伸に伴って、JR 東日本から経営分離された、旧・東北本線の目時-青森間を運行する鉄道会社です。「青い森鉄道」という会社になってからの歴史はまだ浅いですが、東北本線の時代を含めると、明治時代からすでに120年を超える、長い歴史を持つ鉄道路線といえます。

東北本線は、明治24年(1891年)9月に、上野-青森間の全線が開通しました。このときは、日本鉄道という私鉄の会社が運行する路線でした。のちに国有化され、国鉄(=日本国有鉄道。現在のJR)時代の昭和43年(1968年)には、青森までの電化・複線化が完成しています。

これから青い森鉄道で体験学習をするにあたって、青い森鉄道がどのようにして誕生し、発展してきたか、その歴史をひもといてみましょう。

駅ページイメージ



記事ページイメージ

三戸駅

三戸駅は、明治24年(1891年)、東北本線の全線開通と同時に開業した駅です。「南部りんご」の貨物取扱量が最大となり、たいへんなにぎわいがあったといわれています。三戸駅と名前があるにもかかわらず、南部町にあります。なぜここに駅が設けられたかははっきりしません。

三戸南部氏は、はじめこの三戸駅から北に広がる「大向・小向」に居館を構えていました。のちに三戸城を築き、江戸時代に入ると、南部氏は登岡に城下町を建設、藩の拠点としました。

三戸駅について	
開業年月日	明治24年(1891年)9月1日
接続	南部バス / 南部町多目的バス
所在地	青森県三戸郡南部町大字大向字泉山道9-2
営業時間など	【有人駅】窓口 6:20~14:10 / 券売機 6:30~23:30